

令和6年度 全国学力・学習状況調査 結果概要

摂津市立第一中学校

1. 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 実施日 令和6年4月18日(木)

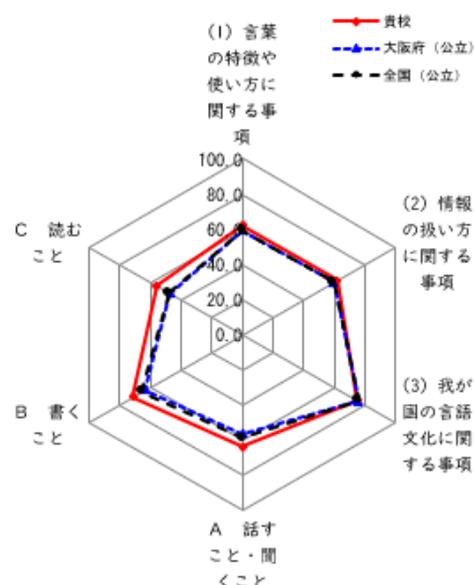
3. 調査対象 中学校第3学年の生徒

4. 調査結果概要 国語・数学・生徒質問紙

国語・数学 学力調査より

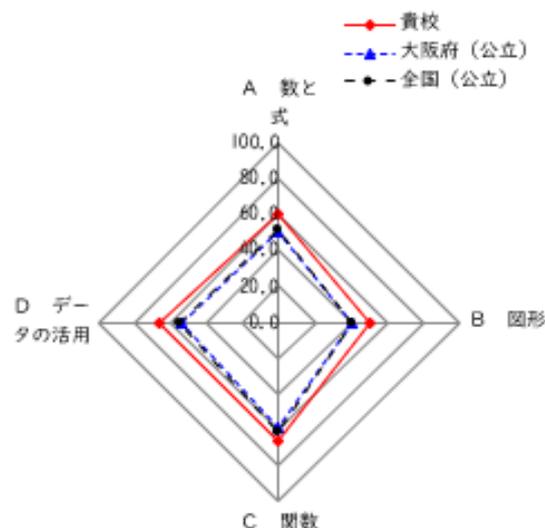
【国語】 本校の平均正答率は全国平均及び府平均より高い。

質問紙調査では国語に対しての肯定的な意見が多数を占めている。課題としては「考えを書く」「要約する」「説明する」など、自ら考え言葉を使うことである。これらの設問も正答率が高いが無回答率が上がる傾向にある。特に日常生活や既存の知識とのかかわりが薄い内容の文章では、その傾向が強まる。良質な書籍に触れる機会の設定並びに新聞等、内容が多岐にわたる文章を読む機会の設定等を行い言葉の使い方を育てていく。

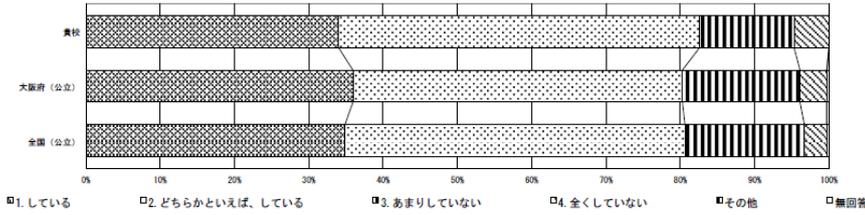


【数学】 本校の平均正答率は全国平均及び府平均より高い。

問題別に解答を比べると記述式の問題に課題がある。例えば、6の(2)と(3)を比べても、(3)の方が正答率が高く、(3)の短答式の問題を答えているにもかかわらずそれに関連する(2)の説明の問題ができていない生徒がいることがうかがえる。生徒質問については(51)(57)の割合が全国平均よりも高く、今後の学習等への活用や、数学が必要と考えている生徒は多いことがわかる。常にふりかえりを書かせたり、今後の生活に活かそうなことを書かせたりしていることがこの結果に結びついたと考えられるため、これからも続けていきたい。逆に(56)の解けたとき別の解き方を考えようとしているかについては否定的な回答が多く、解答できたことに満足し、より良い解法を考えないことに課題があることがうかがえる。これらの結果を踏まえ、粘り強く問題に取り組む、多面的・多角的に問題を捉えることのできる生徒の育成を図っていく。

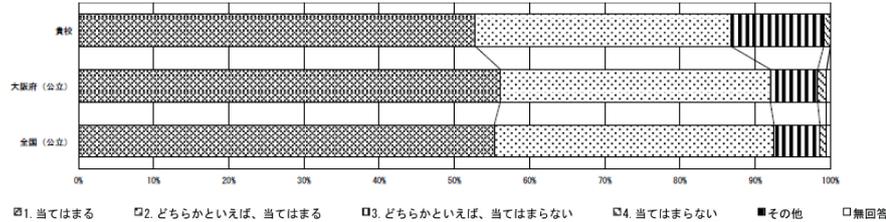


(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



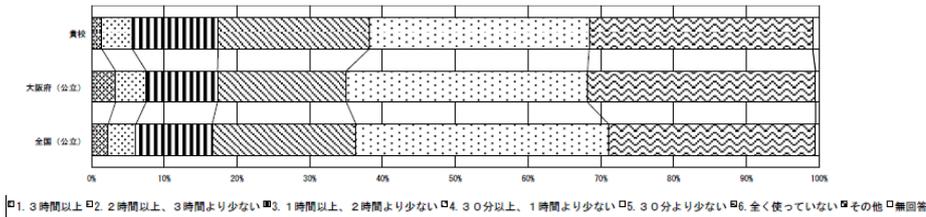
(2) (3) の設問に対しては「している」の回答が全国・府平均よりも低い結果となっている。睡眠の大切さ等基本的な生活習慣を整えることを意識させるお便りの発行やフォーサイト手帳を使用するなどして、啓発活動や自らの生活の見直しができるようにしていく。

(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



(4) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・

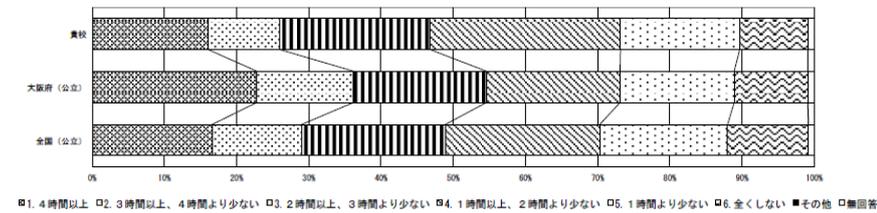
タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



設問(4)~(7)において、学校以外での学習に関する ICT 機器の利用は非常に少ない。しかし、ゲームや動画、SNS などでの利用が「4 時間以上」と回答した生徒が 20%以上であった。授業以外で学習における ICT 機器利用機会を増やす課題の準備などが今後必要であり、ICT 機器との付き合い方について再考する機会を設ける必要があると考えられる。

(5) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、

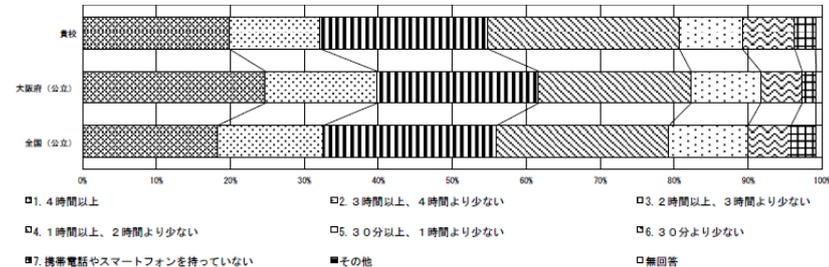
携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



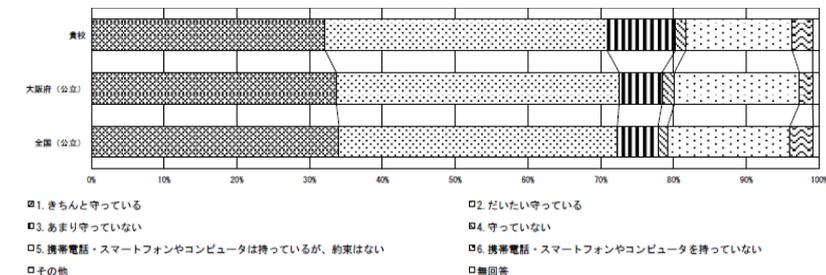
また、(7)の「きちんと守っている」の回答が全国平均よりも少なく、「あまり守っていない」の回答は全国平均より多い。学校と家庭とで協力してのルール作りや携帯電話の使い方についての啓発活動が今後の課題である。

(6) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や

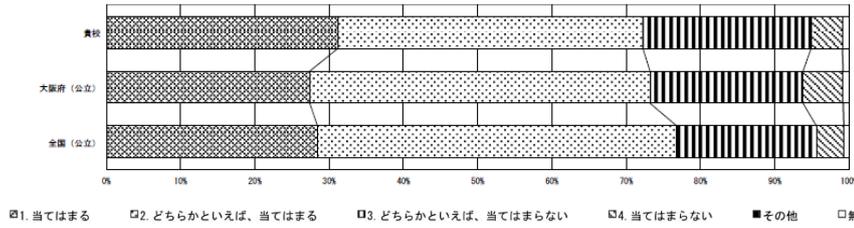
動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



(7) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

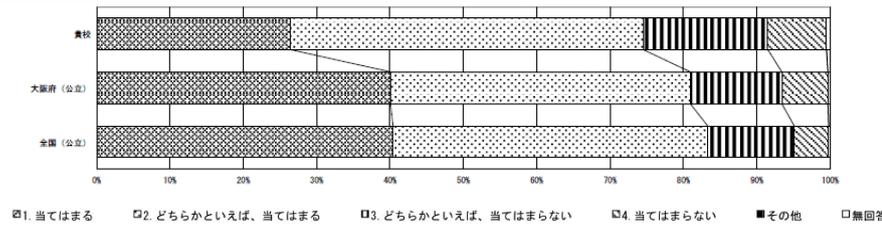


(8) 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか



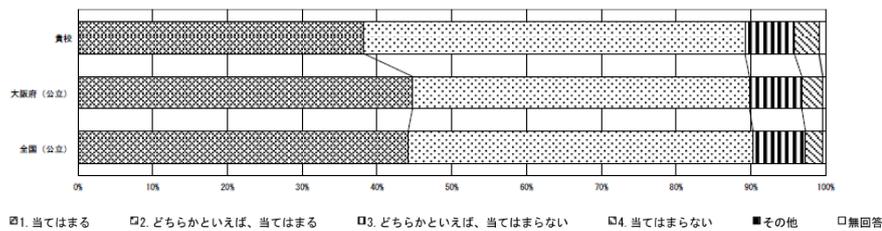
強肯定の回答をした生徒が全国平均より高く、普段の授業やほけんだよりなどでこちらが発信したことを知識として身につけて日常に役立てている生徒が多いと考えられるため、今後も健康に過ごせるよう取組みを続けていく。

(9) 自分には、よいところがあると思いますか

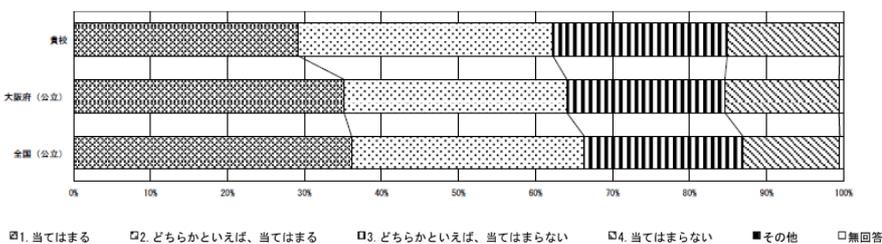


肯定的回答が全国・府平均よりも少ない。学校では「いいとこ発見」やクラスでの取組みなどの役割、学級通信などで自己有用感を高められるような取組みを行っている。それらの取組みをさらに積極的にいき、自己有用感や自尊感情を高められるようにするとともに、それらが伝わるような工夫が必要であると考えられる。学校では結果だけでなくそこに至るまでの過程を認めほめていくことを大切にしているため、学校と家庭で協力し子どもたちのよいところを認めていきたい。

(10) 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか

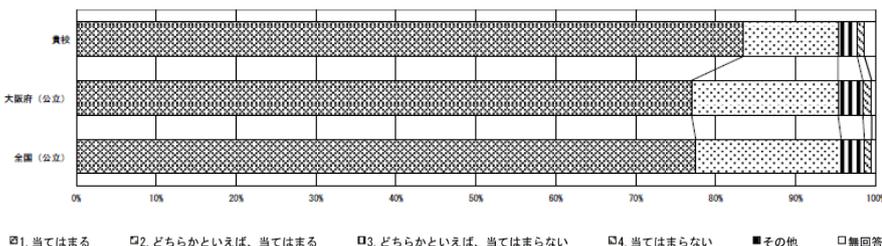


(11) 将来の夢や目標を持っていますか



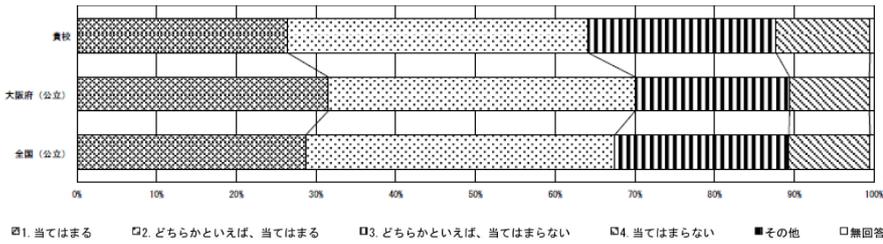
(11) の質問の強肯定は大阪府平均も全国平均も下回っていた。夢や目標をもつ生徒を育成するため、充実したキャリア教育を推進していく必要がある。

(13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



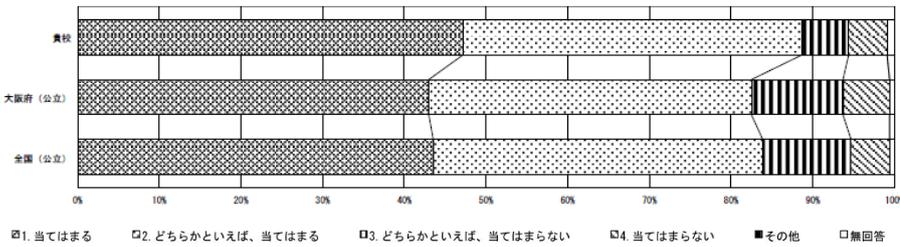
(13) の設問に対しては強肯定の回答が全国・府平均と比べても多い。「いいとこ発見」や「いじめ防止」の人権学習などの成果だと考えられる。小学校から継続して「いじめ防止」の取組みや学習を行ってきた結果が数値に表れていると考えられるので、今後も続けていく。

(14) 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



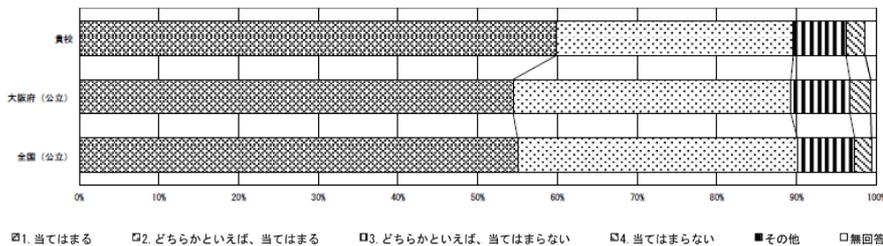
今後生きていく力として必要とされているのが、「助けてという力」である。肯定的回答が全国・府平均よりも少ない。声を掛けたら答えることは多いことから、相談しやすい関係を今後も築いていきたい。

(16) 学校に行くのは楽しいと思いますか



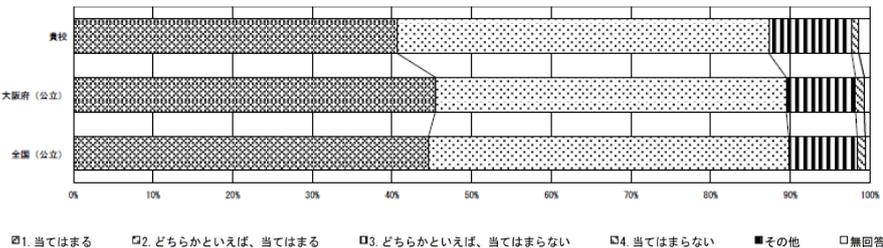
(16)の設問に関しては、肯定的回答が全国・府平均よりも多い。特別活動での集団づくり、学校行事や放課後の部活などの充実を行っている成果であると考えられる。今後もさらに行事や学級活動を生徒とともに主体的に考え、取り組んでいきたい。

(18) 友達関係に満足していますか



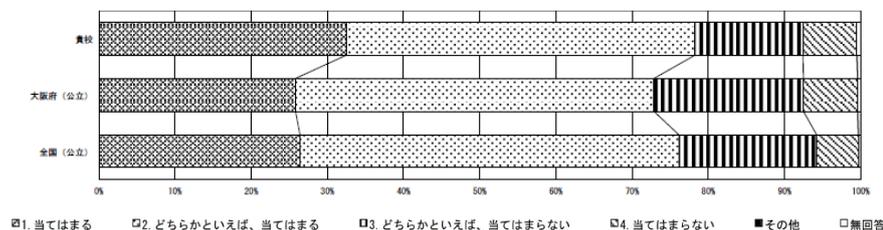
学級や部活などで価値観の合う子と自然と仲良くなれる環境がある。コミュニケーション能力を高め、多くの生徒と仲良く、より良い友達関係を築けるように見守っていきたい。

(19) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



(19)の設問の肯定的回答は全国・府平均と比べて低い。「子どもにとって何が幸せか」を考えることは難しいが、「幸せな気持ち」になれるようなことを増やしていきたい。

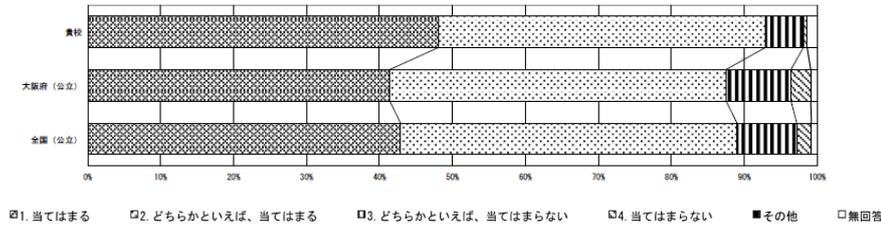
(25) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



(25)の質問に対しては、強肯定が大阪府平均を上回っていた。実際に校内のボランティア活動には意欲的に参加する生徒が多い。地域や社会貢献のための活動を周知し、「してみたい」という気持ちを実行できる環境づくりを行っていく。

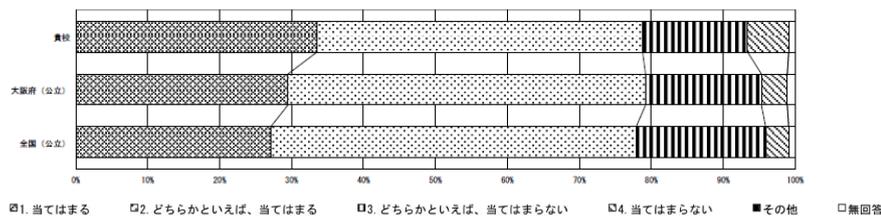
(28—4) 1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。

画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる



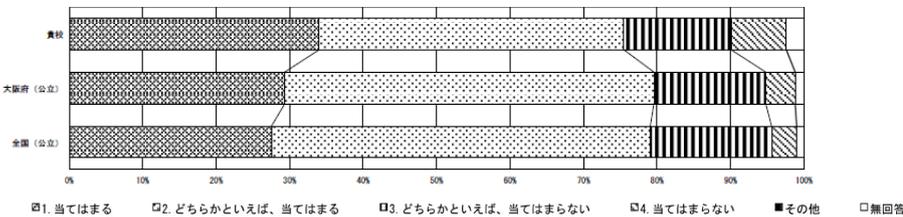
(28—4)について、画像や動画、音声の活用をすることで学習内容がよく分かる」と回答した生徒は、肯定的意見を合わせると約95%で、授業内の取組みが生徒の授業の分かりやすさにつながっていることが読み取れる。今後も効果的に活用していく。

(34) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

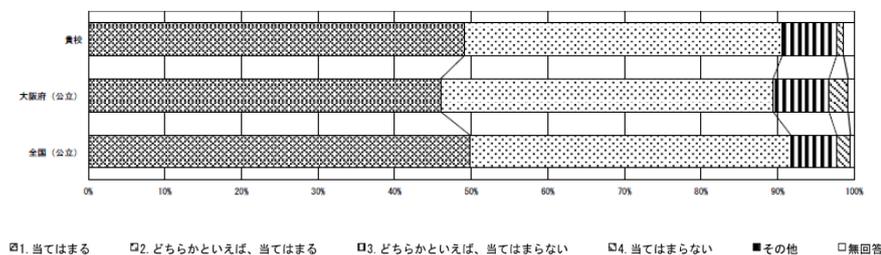


授業ごとに行われている「ふりかえり」が重要であると考えている。どちらも強肯定は全国平均を大幅に超えている。これまでふりかえりなどで実生活や次の学習と結びつけて書くように指導を行ってきた結果であると考えられる。しかし(35)に関しては強否定も全国平均を2倍近く上回っているため、高評価のモデルに出会う機会を保障する取組みを行っていく。

(35) 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか

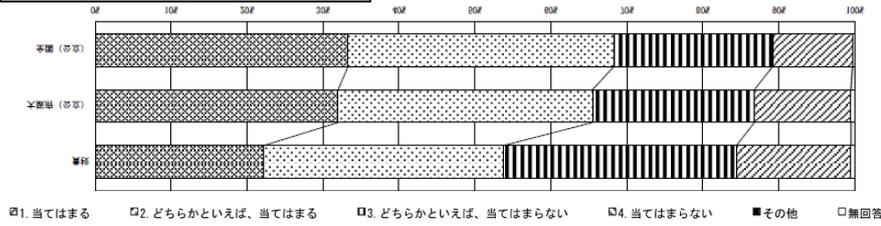


(41) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

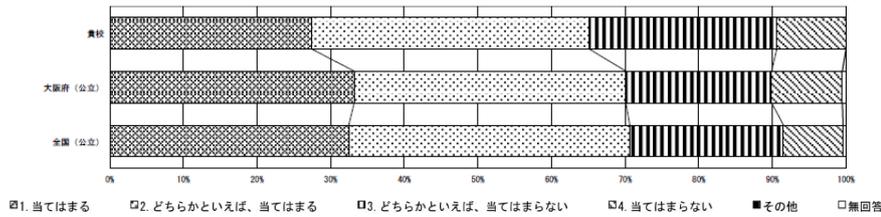


道徳の授業においては意見交流や、自分とは違った意見を知り、新たな発見と結び付けられるような授業内容に全学年あげて取り組んでおり、府平均を上回っている。今後も日々の授業の研究を深め、一人ひとりの生徒の道徳心をさらに育てることを目標に取り組んでいく。

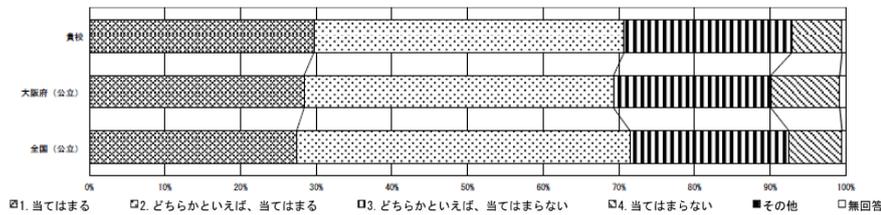
(58) 理科の勉強は好きですか



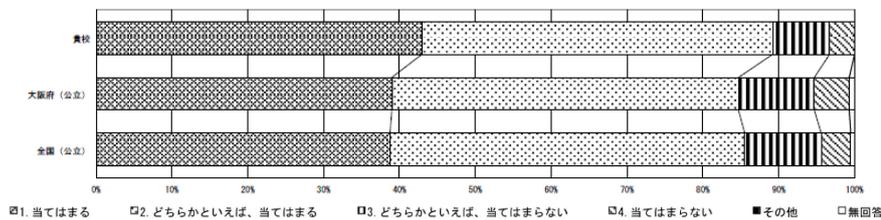
(59) 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがあります



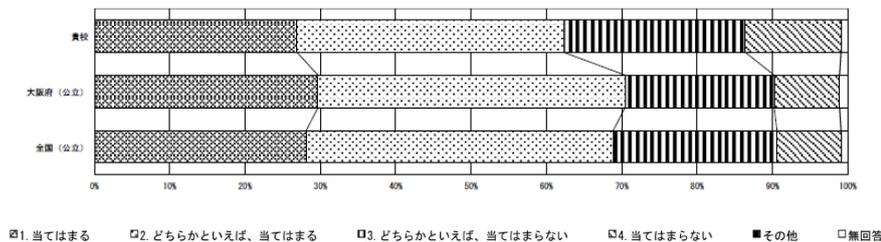
(60) 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか



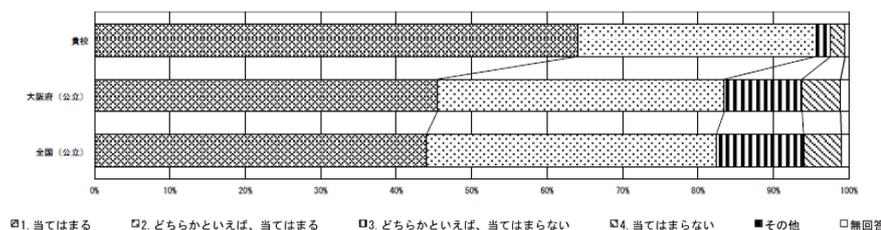
(62) 1,2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか



(63) 1,2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか



(64) 1,2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか



理科の実験には予測や自分なりの考えをもち、積極的に実験や観察に取り組んでいる様子がうかがえる。ただ、近年起こっている理科離れの傾向は、本校でも多くの生徒に当てはまる結果となっている。このことをふまえ、理科の授業展開に工夫を凝らし、生徒が主体的かつ積極的に興味をもって取り組める授業展開や仕掛けを考えていく。

(64)の回答の肯定的割合が全国平均よりも高く、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動に積極的に取り組んでいる様子がうかがえる。一方で、(62)と(63)の割合は全国平均よりもやや低いという結果が出ていることから、英語を読んで全体の概要や要点をとらえる活動や即興で自分の気持ちや考えを英語で伝える活動に取り組んでいきたい。

